

(一社) 日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会
第 72 回水化学管理分科会 (P11SC) 議事録

1. 日時 2025 年 7 月 9 日 (水) 13:30～16:10

2. 場所 Webex による Web 会議

3. 出席者 (順不同、敬称略)

(出席委員) 河村 (主査)、平 (幹事)、中野、大橋、宇井、岡田、松永、篠原、莊田、
高木、長瀬、端 (12 名)

(常時参加者) 中浜、宮重、遠藤、後澤、菅田、佐藤、三島、市橋、山崎、前田^記 (10 名)

(オブザーバ) 山崎、西村 (2 名)

4. 配付資料

【P11SC72-0】	第 72 回水化学管理分科会議事次第
【P11SC72-1】	第 71 回水化学管理分科会_議事録案
【P11SC72-2-1】	指針修正比較表
【P11SC72-2-2】	新旧比較表 (水化学管理指針)
【P11SC72-2-3】	転載許諾対応用リスト
【P11SC72-3-1-1】	PWR 一次系水化学管理指針改定案
【P11SC72-3-2-1】	コメント対応一覧表
【P11SC72-3-3-1】	新旧比較表_本文
【P11SC72-3-3-2】	新旧比較表_附属書 E
【P11SC72-3-3-3】	新旧比較表_解説
【P11SC72-3-4】	転載許諾リスト (PWR 1 次系水化学管理指針)
【P11SC72-3-5】	PWR 一次系水化学管理指針_改定_本報告案
【P11SC72-3-6】	【P11SC66-2-1-2】小澤委員コメント
【P11SC72-4-1】	NPC 2025_Paper 1154_Hirotaka Kawamura_Submitted
【P11SC72-4-2】	NPC2025 での発表について 20230808
【P11SC72-5-1】	依頼文書(ISO_NP_26047-ISO_NP_26050)
【P11SC72-5-2】	ISONP 26047 及び ISONP 26050 対応
【P11SC72-5-3】	添付 1_国際投票画面_ISO_NP 26047
【P11SC72-5-4】	添付 2_ISO-NP_26047
【P11SC72-5-5】	添付 3_ISO_NP_26047_検討報告書
【P11SC72-5-6】	添付 4_ISO_NP_26047_検討報告書_別紙
【P11SC72-5-7】	添付 5_国際投票画面_ISO_NP 26050

【P11SC72-5-8】	添付 6_ISO-NP_26050
【P11SC72-5-9】	添付 7_ISO_NP_26050_検討報告書
【P11SC72-5-10】	添付 8_ISO_NP_26050_検討報告書_別紙
【P11SC72-6】	受講依頼（930 まで）2025 年度の倫理教育

5. 議事

(1) 本分科会の成立について

平幹事より、委員総数 15 名に対し出席委員は 12 名であり、開催定足数（10 名）を満たしていることが確認された。

(2) 第 71 回水化学管理分科会議事録の確認

平幹事より、資料 P11SC72-1「第 71 回水化学管理分科会議事録(案)」について確認依頼があった。分科会終了までに出席者からコメントはなく、承認された。

(3) 人事について

平幹事より、この分科会における委員の交代として、鈴木委員（中部電力）の退任と松永氏（中部電力）委員就任の説明があった。続けて、常時参加者の交代として、串本氏（中国電力）と遠藤（裕）氏（東京電力）の退任、ならびに佐藤氏（中国電力）と遠藤（健）（東京電力）氏の委員就任について説明があった。何れも出席委員多数の賛成により承認された。

(4) 各作業会からの報告について

1) PWR 水化学管理指針作業会

前田常時参加者より、資料 P11SC72-3-2-1「コメント対応一覧表」に基づき、前回分科会以降の修正点について説明があった。

- ・ BWR 指針で転載許諾が取得できなかった Speidel 氏の論文については、引用に見直すこととした。
- ・ 参考文献の入手性について確認した結果、EPRI 文献 1 件が閲覧不可となっていることを受け、当該文献の記載を削除することとした。
- ・ 転載許諾の取得性の観点から、SCC 感受性に及ぼす環境因子の影響を示す図については、同図が掲載されており、出版年も古い資料に修正することとした。
- ・ 作業会レビューにおいて気付いたエディトリアルな誤字脱字を修正した。

出席者からの主なコメントや修正方針は以下の通り。

- ・ 参照先 URL を記載している文献については、確認日を追記することとした。

続けて、前田常時参加者より、資料 P11SC72-3-5「PWR 一次系水化学管理指針 改定 本報告案スライド」について、中間報告時のスライドからの修正点を中心に説明があった。出席者からの主なコメントや修正方針は以下の通り。

- ・ 最新知見については、副資材や有機物などの新規記載の拡充以外にも、最新の引用文献により既存の記載内容に影響がないことを確認済であることを追記することとした。
- ・ 解説のうち、15.2 項「冷却材中の有機物及び微生物の監視について」、15.3 項「3 倍量のページについて」、15.4 項「不純物持込み源となる副資材管理について」の記載順序の妥当性について確認し、要すれば適切な順序に見直すこととした。
- ・ 15.2 項の見出しでもある「”冷却材中の”有機物及び微生物の監視について」の記載について、監視対象とする系統範囲と監視する理由が不明瞭であるため、別の表現に見直すこととした。
- ・ 3 倍量ページの記載について、主語と述語の関係が一致していないようにも読めるため、別の表現に見直すこととした。

上記のコメントは、8/4 システム安全専門部会に向けて修正を進めるべく、7/14 予定の作業会の審議および分科会のメール審議とすることとした。

2) BWR 水化学管理指針作業会

宮重常時参加者から、資料 P 11SC72-2-1「指針修正比較表」に基づき、PWR 1 次系指針のコメント水平展開および前回分科会コメントに基づいた修正について説明があった。続いて、山崎オブザーバから、資料 P11SC72-2-2「新旧比較表」に基づき、第 71 回分科会でも議論のあった「ステンレス鋼の SCC 発生に及ぼす塩化物イオン、溶存酸素濃度の影響」の図に関する説明があった。

- ・ 転載許諾の取得できなかった Speidel 氏の図は掲載を取りやめることとする。
- ・ Gordon 氏の図については、NRC 文書を転載することとする。
- ・ Spidel 氏の図で補足説明として記載されていた設定根拠の考え方については、本文に記載することとする。一方、図中のプロットの解説については、図近傍に記載することとする。

出席者からの主なコメントおよび修正方針は以下の通り。

- ・ 表中の設定根拠見直しは、エディトリアルな範囲を超過する懸念もあるため、今回の改定では図近傍の補足説明のみとし、将来の改定時の申し送り事項とすることで合意した。

(4) NPC2025

河村主査から、NPC2025 において原子力安全と水化学に関する発表を予定しており、これからシステム安全専門部会や標準委員会に対して説明していくことが共有された。

(5) ISO/NP 26047 及び ISO/NP 26050 について

システム安全専門部会から依頼のあった ISO/NP 26047 及び ISO/NP 26050 について、河村主査より説明があった。選出する委員については、電中研、PWR 電力、メーカー(MHI)の3者で引き続き調整することとした。

(6) 倫理教育

平幹事より、分科会の委員、常時参加者に対して 9/30 までの受講が呼びかけられた。

(7) 次回の分科会

次回の分科会は、8/22（金）13:30～ とすることとした。

以上